

ペリセアのベシクル形成能

特徴

- スキンケア効果を有するペリセアの活用
- 簡便な手法(1500rpm、プロペラ攪拌)で調整可能
- 10層以上の多層ベシクルを形成し、オイル性成分及び水性成分を内包可能であると考えられる。

操作

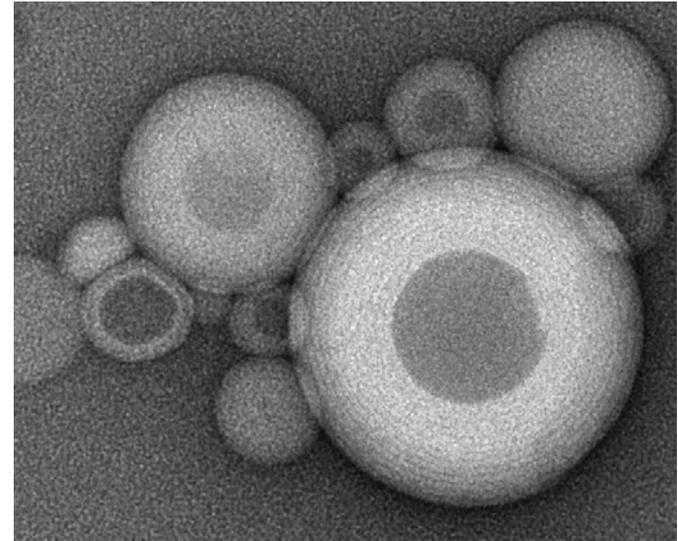
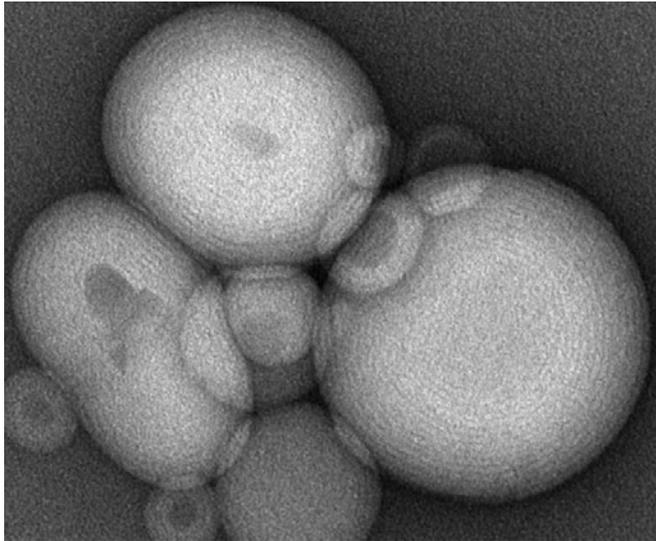
1. Aを80℃で溶解
2. 80℃で温めておいたBにAをゆっくり添加し、10分間(1500rpm)
3. 80℃で温めておいたCを添加し、5分間(1500rpm)
4. 攪拌しながら室温まで放冷
5. 1%アルギニン水溶液でpH調整

| | | |
|----|--------------------------|--------------------------|
| A | コレステロール ジプロピレングリコール | 0.5g 7.5g |
| B | 水 ペリセア-L30 50%クエン酸 | 29.96g 1.78g 0.52g |
| C | 1%アルギニン水溶液 | 10g |
| pH | | 4.73 |
| | 1%アルギニン水溶液 | 23.2g |
| pH | | 6.05 |

ペリセアのベシクル形成能

非常に微細な多層ベシクル(平均粒径 約70nm)を形成

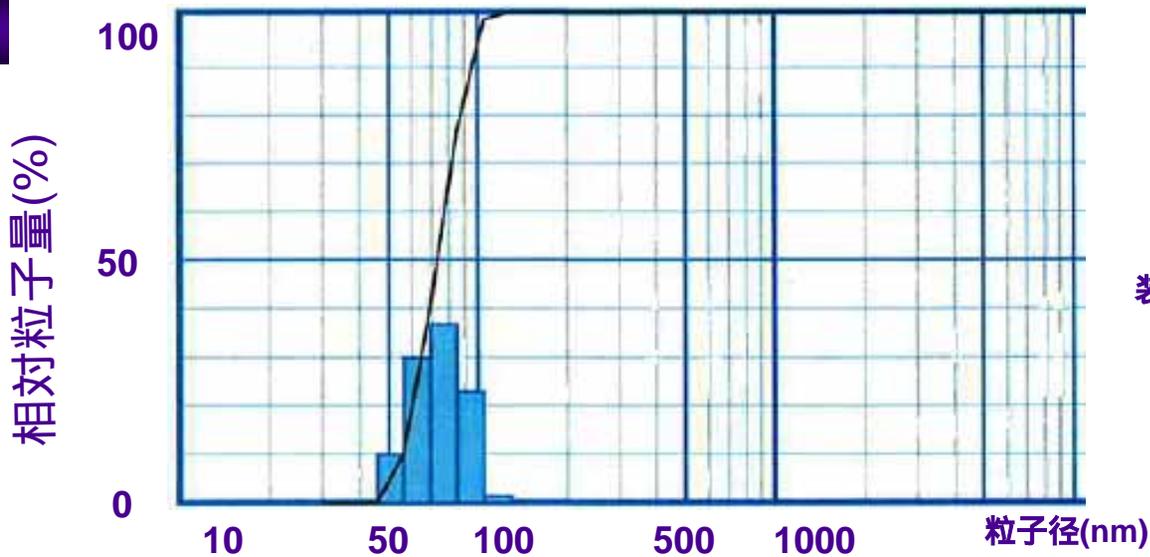
TEM観察



前処理:カーボン支持膜上に分散後、PTA(リンタングステン酸)ネガティブ染色を施した。

装置:HITACHI H-7100(加速電圧:125kV)

粒度分布測定



装置:島津 SALD-2200